

千年の森便り NO100

2012. 1. 18

ちば千年の森をつくる会

<http://www7a.biglobe.ne.jp/~toyofusajima/>

事務局長 伊藤道男

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

1月15日(日)曇

参加者:新井通子、伊藤道男、栗山忠俊、久我哲也、久我則子、重岡謙作、福島成樹、真鍋昌義、村野忠夫、森忠良、山口衛、 会員11名

○ ほこら山(山の神)で安全祈願

例年のとおり、新年最初の活動として、ほこら山に全員で登り、山の神に今年の安全を祈願しました。お供えのお神酒を忘れたことがちょっと気になりましたが、山の神は細かいことには気にしないと信じましょう。

なお、たまっていた数年分のお賽銭は、三嶋神社のお賽銭箱に入れ、安全を祈願しました。

○ ホダ木の保護網

昨年2月に駒打ちし、4月に林内に伏せこんだシイタケほだ木に、保護網をかけました。すでにちらほらとシイタケが出ていて、被害防止の保護網を設置する時期となりました。久我さん夫妻のリードのもと、手際よく設置しました。いつものことながら、阿吽の呼吸で、現場合わせの保護網があつという間に完成しました。

○ 栽培キノコの収穫

収量はわずかでしたが、りっぱな冬菇がいくつか混じっていました。収穫のピークは毎年3月4月ですが、今年は雨量が少なく気になります。

○ 成長量調査

巨木林内に設置した植生保護柵(20×20m)内の、樹高3m以上の約60本の樹木について胸高直径成長を測定しました。調査区域内で最も太いコナラの幹まわりは106.2cmと、昨年より1.2cm増加し、直径換算で4mmの成長がみられました。最も成長量が大きかったのは、幹まわり68cmのコナラで、直径換算で1.5cmの増加でした。以前にも報告したように、直径成長は比較的太い個体で大きく、細い個体はほとんど成長していませんでした。また、常緑樹のスダジイやモミは、コナラの下でも比較的よく成長していました。(福島)



新年恒例の山の神に安全祈願



シイタケホダ木に保護網



成長量調査(周囲長計測)

○シカに遭遇

昼食後、写真を撮りに禁断の岬方向へ向かいました。すると、岬の先端付近の北側でドドドッという足音。先端方向（西）へ足音を追いかけていくと、今度は先端側からこちらに向かって1頭のシカが走ってきました。木立越しで姿ははっきり見えませんが、こげ茶色の冬毛にお尻の白い毛が目立っていました。ほかにも、マダケ林やスタジイ林でシカの新しいフンが確認されました。また、これまでほとんど食害を受けていなかったエビネに、シカが摂食したと思われる痕跡が確認されました。シカにとっては食料の少ない時期なので、この時期に葉を着けているエビネやシュンランなどに対する食害が心配されます。（福島）

○ 落ち葉掻き

一面に積もった落ち葉を掻き集め、2つ目の堆肥場も増設し、いい汗をかきました。カブトムシに間に合ったでしょうか。



お知らせ

2月の活動日

日時：2月19日(日) 9時30分 県民の森「木のふるさと館」駐車場集合
活動内容：光環境（照度）調査、マダケ調査、植物調査、落ち葉掃き、ホテイ岬森林整備、

森林研究所発表会

日時・場所：2月10日（金）13：30～16：00 山武の森文化ホール
花粉の少ないスギ（福島さん）、ヒメコマツ（遠藤さん）、九十九里の津波被害（小平さん）
など、興味深い話題が満載です。申込み不要、当日先着順です。

「豊英島の自然」の刊行近し

8名の編集委員が、2月末の完成を目指して打ち合わせを重ねています。動植物やきのこ、活動記録などの写真をふんだんに使って、四季のグラビア、リストなども含む盛りだくさんの内容になります。お楽しみに。

 **セブン-イレブンみどりの基金**
一般財団法人 **セブン-イレブン記念財団**

この活動は 2011 年度一般財団法人セブン-イレブン記念財団の
公募助成を受けています